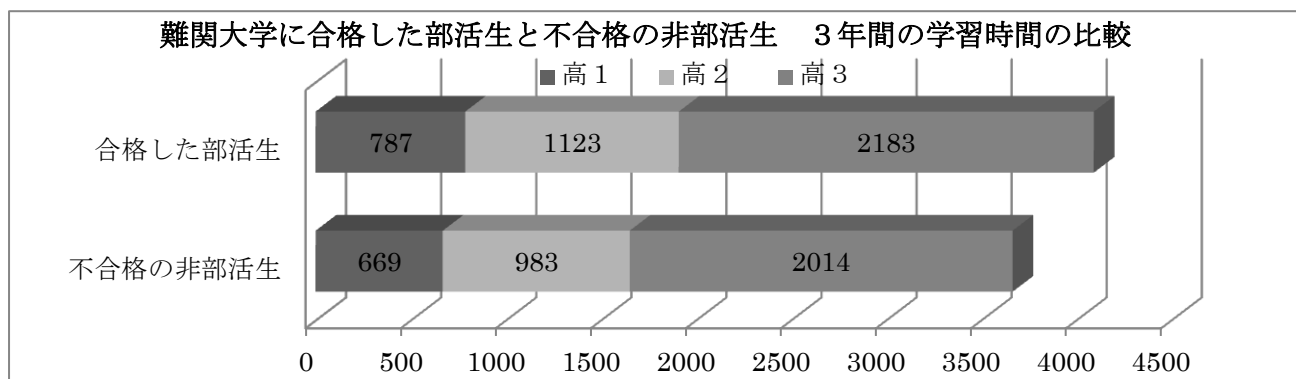


“時間”を無駄にしないために

前回の進路指導通信、いかがでしたでしょうか。今いる環境で、言い訳をせずに精一杯頑張ること。それが、“ここがロドスだ、ここで跳べ”という言葉の意味になります。私たちの“ロドス”は明輝高校です。進路実現のために、努力を続けましょう。

さて、今回は時間の使い方についての話です。とある予備校の調査によると、難関大学の現役合格者の8割以上が部活生であるそうです。少し意外な気がしますが、部活生で現役合格を勝ち取った生徒の7割以上は、遅くとも2年生の夏休みまでに受験準備を始めていたことが調査の結果、明らかになっています。また、難関大学に現役合格した部活生は、部活をしていない不合格者よりも学習時間が多いという結果が出ています。さすがに難関大学志望者だけあって、合格した部活生で 4,093 時間、不合格の非部活生でも 3,666 時間も3年間で学習していますね。みなさんも、これを目指して励みましょう。



さて、この調査から言えることは、部活動が進路実現の妨げになるという言い訳は通用しないということです。合格した部活生のほうが、不合格の非部活生よりも 427 時間も受験勉強しています。つまり合格した部活生は、“時間を無駄にしなかった”そして“時間をうまく作り出すことができた”と言えそうです。下のチェック表で無駄時間を発見して、有効な時間を作りだしましょう。○が多い人は要注意です。改善しましょう。

無 駄 時 間 は こ こ に あ る ！	○
① 今日何を勉強するか、家で机に向ってから考える。	
② 家の勉強机の上はいつも散らかっている。	
③ 勉強をするつもりでも、ついほかのことをしてしまう。	
④ 勉強するよりも、計画を立てている時間のほうが長い。	
⑤ 勉強する計画は立てるが、実際にできたかどうかを反省しない。	
⑥ 休憩のつもりが、それで勉強時間が終わりにになってしまう。	
⑦ 友達と一緒に勉強していると、単なるおしゃべりタイムになっている。	
⑧ いちどスマホをいじると、30 分以上手放さない。	
⑨ 交通機関での移動中は、なにもせずボーっとしている。	
⑩ 起床時間・就寝時間が不規則だ。	